

令和5年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構	
設立年月日	平成12年3月17日	
団体の設立目的・沿革	21世紀の成長産業である健康・福祉・医療関連産業の振興を図ることによって、新産業の創出・既存産業の高度化・雇用の確保による神戸経済の活性化、健康支援と高齢化社会への対応による市民福祉の向上、さらにはアジア諸国の医療技術の向上などの国際社会への貢献を目的とする神戸医療産業都市の中核的支援機関として、産官学医の連携・融合を促進する総合調整機能を担うとともに、先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出と医療関連産業の集積形成に寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	先端医療の研究開発事業	企画調整局医療産業都市部
	進出企業に対する事業化支援事業	企画調整局医療産業都市部
	神戸臨床研究情報センター管理運営事業	企画調整局医療産業都市部
	研究開発・臨床応用に対する総合的支援事業	自主事業
代表者	理事長 成宮 周	

役職員数 (令和6年7月現在)	理事・評議員		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	3	-	-	-		146	149
神戸市派遣職員	2	-	-	-		11	13
神戸市OB職員	-	-	-	-	-		-
その他	-	20	-	2	12	-	34
合計	5	20	-	2	12	157	196

財務状況(単位:百万円)	令和5年度	令和4年度	差引
経常損益	▲ 554	▲ 308	▲ 246
当期正味財産増減額	▲ 724	▲ 265	▲ 459
流動資産	738	1,321	▲ 583
流動負債	4,031	4,776	▲ 745
長期借入金(固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	60	482	▲ 422

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	神戸医療産業都市の中核的支援機関としての事業推進
ミッション②	革新的医療技術の創出による市民福祉の向上
ミッション③	事業推進のための効率的な運営体制の構築
ミッション④	自律的組織運営に向けた自主財源の確保

■短期的なミッション（令和5年度のミッション）

ミッション①	革新的な医療技術の実用化
ミッション②	HBIの安定的な運営

■経営指標（令和5年度）

経営指標				令和4年度	令和5年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	▲0.917	▲4.285	▲3.4ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	26.99%	31.95%	5.0ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	▲3.29%	▲6.65%	▲3.4ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	388.96%	478.00%	89.0ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	27.66%	18.31%	▲9.4ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	45.53%	42.53%	▲3.0ポイント
持続性	自己資本当期純利益率(ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	▲6.21%	▲20.43%	▲14.2ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	▲6.21%	▲20.43%	▲14.2ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション												
神戸医療産業都市の中核的支援機関としての事業推進	<ul style="list-style-type: none"> 神戸医療産業都市の中核的支援機関として、企業、研究機関・大学、医療機関等との融合・連携を促進し、集積による相乗効果を生み出すとともに、一貫した支援体制の構築と神戸医療産業都市の国際展開等の推進に取り組む 神戸医療産業都市を構成する様々なステークホルダーのニーズを踏まえ、世界的クラスターにふさわしい研究・操業環境づくりに取り組むとともに、神戸医療産業都市の国内外の認知度を向上させるため、積極的な情報発信を図る 外部者の利用機能を有する動物実験飼育施設、高度な研究機器を配備した共用機器室を次世代医療開発センターの一部として運用し、研究環境の充実に図る 											
革新的医療技術の創出による市民福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> 先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出を図る 免疫医療研究領域、神経変性疾患研究領域、再生医療研究領域、血液・腫瘍研究領域、感染症制御研究領域等に関する新たな医療シーズの創出に取り組む 機構発シーズ並びにアカデミア発シーズを中心に国内外の新たなシーズで新規性の高い医薬品、再生医療等製品、医療機器等の承認を目指してトランスレーショナルリサーチを進め早期の実用化を促進する 											
事業推進のための効率的な運営体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 神戸医療産業都市の中核的支援機関として、産官学医の連携・融合を促進する総合調整機能を担うとともに、先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出と医療関連産業の集積形成に寄与する 継続的な体制の見直しを行いながら、効率的な事業執行体制及び各部門間の横断的な連携体制を確立するとともに、指揮系統・権限・責任分担の明確化を図る 											
自律的組織運営に向けた自主財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 機構の自律的運営に向けた半年度正味財産ベースの収支均衡及びさらなる経営改善を図る 研究開発支援基金の確保、公的研究事業費、大学や民間企業等との受託・共同研究及び事業による外部資金の拡大、資産の活用、寄附金の確保といった収入の確保につとめ、短期借入金残高を毎年度1.2億円縮減する 											
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
革新的な医療技術の実用化	<ul style="list-style-type: none"> 各研究基盤をできるだけ集約したラボとともに、自前の動物実験飼育施設、高度な研究機器を配備した共用機器室を合わせて配置した次世代医療開発センターを中心に、研究アクティビティを最も効率的かつ効果的に機能させる 研究機関・大学や企業の有望な研究開発シーズを収集・共有し、産学連携による新たなイノベーションを創出するとともに、医療機関におけるニーズの探索・発掘を行い、シーズの実用化・事業化及び医療技術の向上に寄与する 											
H B I の安定的な運営	<ul style="list-style-type: none"> 新たな機器の設置(春頃)や解剖室開設(秋頃)など需要を呼ぶための周知・サービス向上に努め、動物実験飼育施設、共用機器室の利用料収入を確保する 本庶記念神戸基金の周知に努めるとともに、研究者の受賞情報の随時発信といったニュースレター等での周知により継続的な寄附者の獲得に努めることで、寄附金を確保する 											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目 標 及 び 実 現 方 法	<p>目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<p>神戸医療産業都市の中核的支援機関として、産官学医の連携・融合を促進する総合調整機能を担うとともに、先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出と医療関連産業の集積形成に寄与する。</p>
		<p>・ 3センター体制を基本に相互の緊密な連携により事業を実施する。(機構の研究と企業とのマッチングをセンター間で協力して行うなど)</p>
		<p>・ 研究機関・大学、医療機関、医療関連企業等との連携により研究・事業を進めるにあたり、機構がマグネット機能を果たすことができる体制を整備する。</p>
		<p>・ 免疫医療研究領域、神経変性疾患研究領域、再生医療研究領域、血液・腫瘍研究領域、感染症制御研究領域等に関する新たな医療シーズの創出に取り組む。</p>
		<p>・ 機構発シーズ並びにアカデミア発シーズを中心に国内外の新たなシーズで新規性の高い医薬品、再生医療等製品、医療機器等の承認を目指してトランスレーショナルリサーチを進め早期の実用化を促進する。</p>
		<p>・ 神戸医療産業都市を構成する企業、研究機関・大学、医療機関等との融合・連携を促進し、集積による相乗効果を生み出すとともに、一貫した支援体制の構築と神戸医療産業都市の国際展開等の推進に取り組む。</p>
	<p>・ 自律的運営に向け、研究開発支援基金の確保、公的研究事業費、大学や民間企業等との受託・共同研究及び事業による外部資金の拡大、資産の活用、寄附金の確保といった収入の確保につとめ、短期借入金残高を毎年度1.2億円縮減する。</p>	

■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度		<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（1）中長期的ミッションの達成状況

・ 神戸医療産業都市の中核的支援機関としての事業推進

財団設立から24年が経過し、神戸医療産業都市の取り組みは360を超える企業・団体・研究機関の集積、高度専門病院群の整備などにより大きく進展してきたが、当機構としても更なる発展に寄与すべく、医療機器、創薬・バイオ、ヘルスケア、スタートアップの分野で専任コーディネーターによる伴走支援を行い、グローバル展開も見据えた事業化支援と魅力的なクラスター形成に取り組んでいる。

・ 革新的医療技術の創出による市民福祉の向上

5つの研究領域（免疫医療、神経変性疾患、再生医療、血液腫瘍、感染症制御）を中心として、新たな医療シーズの創出に取り組むとともに、進出企業をはじめとする国内外の企業やアカデミアの医療開発を支援し、革新的医療技術の早期実用化に向けた取り組みを進めている。

・ 事業推進のための効率的な運営体制の構築

既存の組織体制、研究・事業の有効性等について検証を行い、時代の変化等に適応した組織体制や業務内容へと再構築するため、外部の専門家の知見も活用しながら、経営健全化に関する取り組みを進めている。

・ 自律的組織運営に向けた自主財源の確保

経営改善プロジェクトを立ち上げ、採算性や時代適合性の観点から既存事業の見直しを行い、不採算事業や公共性が乏しい事業について、廃止・縮小を検討するとともに、受託・共同研究や寄付金等、外部資金の拡大に努めることで、早期の収支均衡と安定的な財政基盤の確立に向けて取り組んでいる。

（2）短期的ミッションの達成状況

・ 革新的な医療技術の実用化

機構と企業で共同開発を行い、製造販売承認を取得した難治性眼表面疾患に対する新規治療法の細胞シート製品（サクラシー）の受託製造を行うとともに、変形性膝関節症(OA)に対する探索的治験に関して、治験製品製造を実施し、実用化に向けた準備を進めた。

・ HBIの安定的な運営

動物実験飼育施設について、進出企業が利用できる処置室を整備し、研究環境の充実を図るとともに、外部利用の拡大に向けた取り組みを進めている。

（3）市政への貢献・市民への還元状況

当機構が開発を支援し、国からの製造販売承認及び公的医療保険が適用された製品については、神戸市民を含む全国民が新たな治療の選択肢として使用できるようになっており、市民への医療提供に繋がっている。

また、進出企業・団体に対してシーズ探索から販路開拓まで一貫した支援を行い、研究・開発シーズの事業化、ひいては産業化や経済活性化に繋げている。

■外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

当機構の財政状況については、周辺環境や収支構造の変化により、近年、赤字基調に陥っている。今後も神戸医療産業都市の中核的支援機関としての必要な役割を適切に果たすことができるよう、速やかに安定的な財政構造を構築するとともに、市民をはじめ、神戸に関わる企業等に対して、具体的かつ十分な利益還元が得られるものとなるよう、業務内容や組織体制等の見直しに集中的に取り組むこと。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	神戸医療産業都市の将来像の実現に向けて必要な役割を適切に果たすことができるよう、速やかに安定的な財政構造を構築するとともに、市民をはじめ、神戸に関わる企業等に対して、具体的かつ十分な利益還元が得られる施策・事業を展開できるよう、業務内容や組織体制等の見直しに集中的に取り組むこと。
短期的ミッション	革新的医療技術の実用化については、研究・開発シーズの事業化・産業化に向けて、企業やアカデミア等のニーズに適ったサービスを体系的かつ効果的に展開すること。HBIの運営については、動物実験飼育施設において収入の確保と経費の削減に努め、大幅な収支改善を実現すること。
団体目標の達成状況	機構の活動については、単に真理の探究や科学技術の進歩等を目指した取り組みに留まるものでなく、周辺環境の変化や進出企業等からのニーズに的確に対応し、神戸経済の活性化と市民福祉の向上の両面から真に市民還元につながる成果が得られるよう、十分な公益性を備えたものに限定して実施すること。また、経営の健全化については、令和7年度における資金収支の均衡と借入金債務の計画的な返済を実現し、早期に安定的な財政基盤を構築できるよう、既存業務や組織体制について、聖域を設けることなくゼロベースによる見直しを行うこと。特に、①上記の動物実験飼育の収支改善に加え、②医療イノベーション推進センター（TRI）の赤字の解消、③先端医療センター（IBRI）の研究に対する評価体系の見直しについては、具体的かつ実効性のある見直しを行うこと。
市への貢献・市民への還元状況	進出企業等への技術やサービスの提供を通じて、神戸経済の活性化と市民福祉の向上を図り、市民に対して具体的かつ十分な効果還元を図ること。特に機構の研究については、研究内容と成果について市民に対して適切に説明責任を果たすとともに、市民や企業等の理解が深まることで、研究成果への期待感の醸成や企業の共同研究への意欲の向上が図られるよう適切に情報発信を行うこと。なお、シビックプライドの醸成や若年世代の科学技術への関心の向上が図られるよう、出前授業などの体験型学習等、積極的な広報活動を展開すること。

(3) 今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体
 継続的な見直しを要する団体
 取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体